

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

(実施期間：平成 28～33 年度)

実施機関：東北大学（総括責任者：大野 英男）

取組の概要

これまでに実施した女性研究者のための環境整備および採用システム改革を基盤とし、『社の都女性研究者エンパワーメント推進事業』では自然科学系を中心に女性教員の在籍比率や新規採用比率の格段の向上等を目標として次の取組を行う。

- ・ダイバーシティ研究環境整備を拡充し、外国人を含めた男女の多様な働き方を可能にする。
- ・女性研究者に特化した URA を雇用し、女性研究者の研究力育成・向上のための研究費獲得支援等を行う。
- ・女性研究者のエンパワーメントを行う一方で、現状分析を踏まえた全学的な人事施策を構築し、各部局における女性教員の採用・昇任のための支援に多面的に尽力する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性研究者のエンパワーメントを目指し「優秀女性研究者顕彰制度」を新設するとともに、総長裁量経費を活用した「東北大学女性教員採用促進事業」を構築し、教員の女性限定公募をはじめ実効性の高いポジティブ・アクションを実施することにより女性教員の採用を増加させた。特に自然科学系の女性教授・准教授を増加させ、これまで女性教授の在籍のなかった自然科学系の研究所や研究科専攻に初の女性教授を誕生させたことは評価できる。また、機関初の女性副学長を誕生させ、役員等の女性比率に係る実施期間終了時の目標を前倒して達成するなど、機関のマネジメントに関わる女性研究者を大幅に増加させたことは評価できる。今後は、東北地域の他機関との連携を深め、優れた取組を広く普及させることを期待する。

- ・**目標達成度**：新規採用教員の女性比率、教授・准教授の女性比率、役員等における女性比率の目標をすべて達成しており評価できる。教員の女性比率は上昇しているものの目標は達成できておらず、さらなるポジティブ・アクションの展開を期待する。
- ・**取組**：総長裁量経費を活用し、「東北大学女性教員採用促進事業」を創設し、部局公募型、国際公募型の2つの女性限定教員公募、女性教員のポストアップ、ダイバーシティ研究環境の実現に係る部局対象のインセンティブ経費付与といった実効性の高いポジティブ・アクションを実施したことは高く評価できる。さらに、両立支援強化に向けた学内保育園の新設や既存保育園の拡充、女性研究者の研究力向上を目指した URA の配置等の取組は高く評価できる。
- ・**取組の成果**：教員の女性限定公募、女性教員対象のポストアップがよく機能し、女性教授・准教授が着実に増加しており、女性教授が不在であった自然科学系2部局で女性教授が誕生した

ことは評価できる。さらに、全学教育科目「ジェンダーと人間社会」の開講、東北大学サイエンス・エンジェルの継続的な活動による意識啓発により、女性研究者の次世代の育成が推進されたことは評価できる。

- **実施体制**：学長の直下に「女性研究者エンパワーメントタスクフォース」を設置し、専任 URA を配置し、既存の男女共同参画推進センターと連携を取りながら様々な取組を推進するとともに、外部アドバイザリーボードを設置し、目標達成に向け定期的にフィードバックを行う体制を構築したことは評価できる。
- **今後の進め方**：学長のリーダーシップの下、十分な自主経費を確保し、これまでの取組を継続する計画であり、今後の事業の継続が期待できる。離職状況を含めた女性教員の実態調査に基づき、病児保育、子育て中の女性教員のための「単身滞在者帰宅交通費支援制度（仮称）」等を検討しており、事業のさらなる展開を図っていることは評価できる。